

広域的長期浸水（湛水）・液状化被害による長期孤立が予測される海拔ゼロメートル地帯における災害時福祉医療連携ネットワークモデルの作成を目指した調査研究事業

（令和7年度事業活動実績）

1 海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員会の設置

(1) 第1回検討委員会

令和7年7月11日（金）対面開催

(2) 第2回検討委員会

令和8年2月13日（金）対面開催

2 DH-Wins アプリ・アクションプランの改訂

令和6年度老人保健健康増進等事業で開発した DH-Wins は、発災直後に施設・市町村とも、これだけの行動が行えるかの疑問が生じたことから、令和7年度では施設情報の事前入力を可能にし、施設・市町村ともリスク評価が行え、BCP 改定にも反映するシステムとし、それに対応するアプリ・アクションプラン（DH-Wins 活用マニュアル）に改定した。

3 普及啓発研修の実施（研修会）

2「DH-Wins アプリ・アクションプランの改訂」で作成したアプリ・DH-Wins 活用マニュアルの普及啓発を図るため研修会を行い、併せて運用に向けての効果・課題を抽出した。なお、研修会は3地域を対象に実施した。

(1) 研修方法

海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員の市町村、市町村管轄の高齢者介護施設、市町村職員を対象に、検討委員医師、事業主体者を講師として行った。

(2) 実施日時（対象地域）

・第1回：令和7年10月10日（金）14時～16時（津島市、あま市、大治町）

・第2回：令和7年10月17日（金）14時～16時

（愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村）

・第3回；令和7年10月24日（金）14時～16時（名古屋市）

(3) 参加者

・第1回；11名（内訳市町村職員4名、施設職員7名）

・第2回；13名（内訳市町村職員4名、施設職員9名）

・第3回；12名（内訳市町村職員2名、施設職員10名）

4 普及啓発研修の実施（実証訓練）

研修会であげられた項目についてアプリ内容の改定を行い、「令和7年度老健事業 DH-Wins アプリ・システム検証実証訓練」として、南海トラフ地震陸側強震動生成域で M9 の地震発生を想定し、行動類似体験、被害状況の把握と情報共有の在り方の検証、DH-Wins の施行運用と検証を目的として行った。

(1) 実施日時

令和8年1月21日（水）午後0時30分～午後5時00分

(2) 参加機関

愛知県職員、海拔ゼロメートル地帯を有する名古屋市、津島市、弥富市、愛西市、あま市、蟹江町、大治町、飛島村の職員及び市町村管内高齢者介護施設の職員

（※高齢者介護施設は自施設で訓練参加）